

令和2年度第1回四條畷市総合戦略協議会 会議録

日 時	令和2年9月16日（水）11:00～12:00
場 所	市役所本館 3階 委員会室
出 席 者	石関委員(会長)、上村委員(副会長)、開原委員、小西委員、中川委員、中野委員
欠 席 者	林委員、宮田委員
事 務 局	藤岡総合政策部長兼魅力創造室長、笹田田原支所長兼田原地域スマートシティ担当参事兼田原支所課長、森本魅力創造室課長、川崎魅力創造室主任
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 議題            次第1 総合戦略と進捗管理について            次第2 国の動向と本市の今後の対応について            次第3 その他</p> <p>3 閉会</p>
配布資料	<p>① 次第</p> <p>② 座席表</p> <p>③ 委員名簿</p> <p>④ 令和2年度第2回四條畷市総合戦略協議会日程調整表</p> <p>⑤ 資料1 平成27年度策定分 進捗管理シート</p> <p>⑥ 資料2 平成30年度策定分 進捗管理シート</p> <p>⑦ 資料3 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金説明会資料</p> <p>⑧ 資料4 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業一覧</p> <p>⑨ 資料5 未来技術社会実装事業 概要</p> <p>⑩ 資料6 けいはんな学研区域（田原地域）における地域主体の持続可能なまちづくり</p> <p>⑪ 資料7 地方創生推進交付金「society5.0タイプ」の概要</p>

(文中敬称略)

事務局	<p>1 開 会</p> <p>それでは、定刻となりましたので始めさせていただきたいと思ひます。皆様方には、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日のご出席の委員は6人、ご欠席の委員が、2人でございます。四條畷市総合戦略協議会規則第三条第2項の規定に基づき、委員の過半数にご出席をいただいておりますので、会議が成立することを報告いたします。まず初めに事務局側の職員の紹介をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>総合政策部長兼魅力創造室長の藤岡でございます。</p> <p>魅力創造室課長の森本でございます。</p> <p>また本日の案件の関係職員として、田原支所長、兼、田原地域スマートシティ担当参事兼田原支所課長の笹田も出席しております。最後に私、魅力創造室主任の川崎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは石関会長どうぞよろしくお願いいたします。</p>
石関会長	<p>はい、それでは只今から令和2年度第1回四條畷市総合戦略協議会を開会します。</p> <p>事務局、本日の資料の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の資料につきましては、まず事前に郵送で送付をさせていただきました、資料1から7までの資料一式、それと本日机上の方にお配りしております、次第、座席表、委員名簿、次回会議の日程調整表でございます。</p> <p>日程調整表は、お帰りの際に、回収をさせていただきますので、お手数ですがご記入の方をよろしくお願いいたします。</p> <p>資料はお揃いでない方はいらっしゃいますでしょうか。大丈夫でしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それでは、以降の進行を石関会長にお願いしたいと思ひます。会長よろしくお願いいたします。</p>

石 関 会 長	<p>2 議 事</p> <p>はい。それでは次第に入る前に、四條畷市総合戦略協議会条例第4条第3項に規定する産業経済団体の関係者として四條畷市青年会議所、理事長が交代されたことに伴い、鼎（かなえ）様に代わり、林様が新たに委員として委嘱されました。本日、林委員は都合によりご欠席となっておりますので、報告とさせていただきます。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めます。まず、次第1、総合戦略の進捗管理について事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>それでは総合戦略の進捗管理につきまして、ご説明させていただきます。皆様、資料1、資料2をご用意ください。</p> <p>総合戦略に定めるK P Iにつきまして、昨年度（令和元年度）の実績値と分析を記載したものでございます。お時間が限られておりますので、全体の中からK P Iが基準値に比べ、実績が比較的よかったもの、悪かったものを中心に上げさせていただきます。</p> <p>まず資料1 平成27年度策定分のK P Iについてでございます。こちらは、平成30年度に改定を行う前の総合戦略に定めていたK P Iで、平成31年度（令和元年度）を最終目標年次としていたものでございます。基本目標「子供たちのすこやかな育ちを応援」のうち、施策1の子育て・子育て支援の充実におきましては、上から2番目・3番目の子育てに関する相談件数、すこやか子育てチャレンジ参加者数が目標を大きく上回る結果となりました。相談件数につきましては、子育て総合支援センターと、保健センターが連携して、令和元年7月に設置いたしました「ネウボラなわて」による新規事業の実施などを通じて、実績が伸びたものと思われま。</p> <p>次の待機児童数につきましては、田原地域の申込者が増加した影響により、前年度に比べ9人の増となっております。この対策としまして、令和2年度に、田原地域の保育室を拡充し、令和3年度から1歳児の受け入れ人数を増加させる予定としております。</p> <p>続きまして、施策2の学校教育の充実の中におきまして、授業で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができたと思う児童・生徒の割合が目標を大きく上回って</p>

おります。

次に、裏面にいただきまして、基本目標「魅力と活力にあふれるまちづくり」におきまして、公共施設における電気使用量のみが目標を達成した状況でございます。しかしながら、共通商品券の販売額や公園・緑地等参加ボランティア数が目標達成には至っていないものの、前年度に比べて前進しております。

また、歴史民俗資料館の入場者数につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、開館日数が減ったため、前年度よりも減少はしておりますが、一昨年度と同等の入場者数となっており、通常どおり開館できていれば、より多くの来場者が期待できたものと考えております。こちらのK P Iにつきましては、平成31年度（令和元年度）を持ちまして、最終目標年次を迎えましたため、進捗管理は今回で終了となります。

次に、資料2 平成30年度策定分のK P Iをご覧ください。こちらは、平成30年度に改定を行いました総合戦略で定めるK P Iです。中ほどの列にありますように、中間目標値として、令和元年度における目標値をお示ししております。そちらと実績値を比較してご覧いただければと思います。

まず、基本目標「親子がいきいき暮らせるまち」におきましては、先ほどの資料1でもありました、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができたと思う児童・生徒の割合が、平成27年度策定分の目標値よりも引き上げて目標設定をしておりましたが、その目標を大きく上回って達成することができました。

次に、基本目標「働きたい」を応援するまち」につきまして、3項目ともこれまでの累積値を示すものとなっており、平成31年度の実績としましては、すべて0でございました。

創業支援に基づく新規起業数や商店街の空き店舗活用件数につきましては、様々な取り組みを行っておりますが、事業が年度内に完結しないことなども一因と考えております。

最後に、基本目標「もっと知りたい、ずっと住みたいまち」では、サテライトイベント参加者数20代から40代で「住み続けたい」及び「市内で他に移りたい」と答えた割合が目標値を上回りました。特に「住み続けたい」及び「市内で他に移りたい」の割合については、これまで総合戦略や各計画に基づき、各課で取り組んできました施策・事業の成果が市民の方々に一

	<p>定評価していただけるものと考えております。今後は市民意識調査の結果を精査のうえ、定住意欲のより一層の向上を目指す必要があると考えております。</p> <p>簡単ではございますが、平成27年度策定分及び平成30年度策定分のK P I の進捗状況についての説明を以上とさせていただきます。</p>
石 関 会 長	<p>ありがとうございます。只今、事務局から説明がありましたK P I の実績等につきまして、委員の皆さんからご意見ご質問等ございますでしょうか。いかがでしょうか。</p> <p>それでは、本件についてはこれで終了します。続いて、次第2国の動向と本市の今後の対応について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>それでは、国の動向と本市の今後の対応についてご説明させていただきます。今回の案件は2点ございまして、まず1点目をご説明させていただき、皆様からのご意見を伺った上、2点目の説明に移らせていただきたいと思いますと考えております。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、1点目の案件といたしまして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、ご説明させていただきます。資料の3と4をご用意ください。</p> <p>まず、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の概要についてですが、資料3、1ページ目の下段に、これまでの経過にあります通り、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済、住民生活を支援し、地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう創設された交付金でございます。</p> <p>次のページに移っていただきまして、上からですね。国におきましては、第一次補正予算で1兆円、第二次補正予算で2兆円、総額3兆円の予算が計上されております。この交付金につきましては、交付対象等①、②にあります通り、地方公共団体が策定します実施計画に掲載された事業に対し、交付限度額を上限として交付されます。交付限度額につきましては、③に記載</p>

の通り、人口や財政力、感染状況や、国庫補助事業の地方負担額等に基づき算定をされます。

下にお移りいただきまして、中ほどですね。「交付対象事業」についてでございますが、①から③の三つの基準があり、すべてを満たす事業で、令和2年度中に実施・完了するものが対象となっております。

次のページに進んでいただきまして「今後のスケジュール」をご覧ください。本交付金は、第一次から第三次までの3回に分けて実施計画を提出いたします。本市におきましては、すでに第一次、第二次分の早期提出を終えているところであり、今後は、本年冬頃に受付が開始される第三次提出を行う予定としております。

続きまして、本交付金を活用して実施する本市の事業につきまして、資料の4をご覧ください。先ほど申し上げました通り、本市ではすでに実施計画の第一次、第二次提出を終えており、そこで提出した事業の一覧でございます。左端にあります事業番号1から8、こちらが第一次の提出をさせていただいた部分でございます。事業番号9から16が第二次分の提出分の事業でございます。いずれも令和2年度補正予算 予備費において実施中または今後実施することが確実である事業を掲げております。こちらから主なものについてご説明させていただきます。

まず、事業番号1 休業要請支援金事業、こちらにつきましては、大阪府の休業要請に伴い、1法人につき50万円、1個人につき25万円の支援金を支給するもので、大阪府と本市で2分の1ずつの費用を負担する事業でございます。

事業番号2 児童扶養手当受給者への臨時給付金給付事業では、就業環境の変化に伴い、経済的な影響を受けやすいひとり親家庭の児童扶養手当に5万円を上乗せ給付いたします。

事業番号3・4、また9におきましては、マスク・消毒液などの保健衛生用品の備蓄を行います。

事業番号12では、かねてより、取り組んでおりましたGIGAスクール構想の前倒し実施が国から示されたことに伴い、市内小中学校の児童生徒1人に1台のタブレット型パソコン端末の整備を行う費用を計上しております。

事業番号13では、国が実施いたしました、1人につき10万円の特別定額給付金事業におきまして、対象外となっておりました新生児やお腹の中の赤ちゃんに対し、本市独自で1人につき10万

	<p>円の給付を行います。</p> <p>事業番号15では、市内店舗で使用可能な商品券を市民1人につき5千円分、18歳以下の子どもには1万円分配布し、家計の下支えと市内事業者方々の支援を行います。</p> <p>これらの事業にかかる事業費の総合計は、表の右下にございます、12億2,490万1,000円でございます。これに対しまして、国から示されている交付限度額につきましては、事業費合計の下にございます、第一次分が、2億1,055万9,000円、第二次分が5億3,688万1,000円、合計7億4,744万円となっており、約12億の事業費がかかることで限度額に対し、事業費が上回っている状況でございます。こちらにつきましては、事業の実施状況や、落札による減額などにより、実際の支出額が減少することを想定し、あらかじめ限度額を上回る申請を行うことが推奨されていることから、このような金額となっております。</p> <p>今後のスケジュールといたしましては、本年冬ごろに行われます第三次提出におきまして、本交付金要綱の活用対象となる国庫補助事業を中心とした事業の計上を行うとともに、第一次、第二次提出分の事業について、実施状況等を精査の上、必要に応じて金額修正等を行っていく予定としております。</p> <p>議題2、1点目の案件に対する説明は以上でございます。まずは本件に関して、委員の皆様からご意見等いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
石 関 会 長	<p>はい、ありがとうございます。只今、事務局から説明がありました新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきまして、委員の皆さまからご質問ご意見等ございますでしょうか。</p>
小 西 委 員	<p>すいません。三次の申請ですすね、今一次、二次で16項目の事業名称ですす、推進されているわけですすけども、三次でもう少し例えば、増やすという可能性もあるという解釈でいいでしょうか、どうなんでしょう。一次・二次を拡張するという前提になるのでしょうか。</p>

<p>事務局</p>	<p>はい、ありがとうございます。今後の冬頃を第三次申請予定はさせていただいてるんですけども、基本的には市の単独事業ではなくてですね、補助事業、国の補助を受けて行う事業の地方の負担分に対して、新たに交付を受ける予定としております。ただですね、今第一次、第二次と出しております申請済みの単独事業の修正とか追加っていうのも求められておりますので、現状7億の交付限度額に対して、12億エントリーしているところなので、なかなか新たについてというのは難しいと考えているんですけども、今後の国ですとか、大阪府の動向、また本市の状況、感染状況とか冬頃に向けたまたいろいろ様々動きがあると思いますので、そのあたりですね、総合的に判断しまして、必要であれば関係課、皆様と調整のもと、実施についても検討を進めたいとは、現状考えております。</p>
<p>小西委員</p>	<p>ありがとうございます。実はこの突発的な災害のような感染症で、色んな地域の事業者さん含めて影響が出ている中で、特に枚方信用金庫でもその地域の飲食店であったりサービスのところですね、特に大手のチェーン店はあるんでしょうけども、その地域で創業されて地域で営業されているところを何とか支援できないかなというところで、大阪府のステッカー事業と絡めて、実は推進してまして。</p> <p>この休業要請支援金とかですね、営業継続するための色んな支援の手法というのを検討してまして、今、とりあえず枚方市を中心に推進させていただいてるんですけども、できればこの北河内のエリアにも広げていきたいなという思いがありましてですね。</p> <p>またお手伝いできる部分と、それからまた行政の方で支援をお願いしなければいけない部分が出てくるかもわからないんです。またその辺の提案をですね、させていただきたいなということがあってちょっとお伺いしたんですけども。</p> <p>一応、二次感染も少し落ち着きつつあるのかなという状況ですけども、今お話出ました、また冬の空気が乾燥する時期に、インフルエンザが流行る時期に向かって第三次とかそういう色んな心配事とか、まだ不確定な部分があるので色んな形で、地域の地方創生交付金の臨時の部分なんで、地域の事業者の方にもうまくいきわたるようなことができればなと思ってます</p>



	<p>ので、またご提案させていただくかもしれませんので、そのひとつよろしくをお願いします。うちのPR的なことになってしまったんですけども、すいません。よろしくお願いします。</p>
<p>藤岡部長</p>	<p>はい、ありがとうございます。まさしく今仰っていただきました市内の中小企業をはじめ事業者さんに対しての支援ということで、今回この臨時交付金使いまして、10番の例えば外食産業等のテイクアウト支援事業ということで、飲食業さん等でデリバリーとの代行サービスであったり、宅配サービス導入に係る車両や消耗品の購入費に対する補助金などの事業なんかも展開させてもらってますし、15番ですね、市民さんの生活支援ということも含めてなんですけども、事業者さんの支援ということで市内で使える商品券ということで、これも実施の方させていただいております。</p> <p>このコロナ禍の中ですね、やはり働き方でありましたり、新しい生活様式と言われているものがかなり変わってきているのかなと。そういう意味では、来年度の税収等につきましても、かなり影響の方も損失もあるのかなというようなことでございます。それでできるだけ、こういう国からの交付金使いまして、今後の継続的な事業者の支援とも考えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。</p>
<p>石関会長</p>	<p>他にどなたかございますでしょうか。</p>
<p>藤岡部長</p>	<p>すいません。もしよろしければ中川委員、今回のコロナの対応で本市への協力といいますか。色んな支援をしていただいていると思うんですけども、商工会さんとしての取り組み等も何か少し教えていただけたらなと思うんですけども。</p>
<p>中川委員</p>	<p>今ですね、5人の専門相談員という中小企業診断士の先生に来てもらって、入れかわり聞いてもらって、毎日のように来てもらっているんですけども。5割ぐらいが会員さんですけども、5割は非会員さん。非会員さんの来訪が多くてですね。今まで会</p>

<p>開原委員</p>	<p>ったことない方ですね。やっぱり職員も性格とかわからないんで、0から聞き出していかないといけないので、対応時間は1時間以上掛かるんですよ。電話も1時間以上掛かるんですね。</p> <p>何の補助金が欲しいのか、何の助成金が欲しいのか、そんな名前から聞いていかなあかんで、そういうことですね。</p> <p>今も段々飲食店含めて内部留保というかお金がね、もうなくなってきたような状態で。先週に大阪府の経営支援課さんとZoomでヒアリングをやったんですけども、廃業をどう上手いことさせるか。ソフトに、そういう商業事業者さん、ノウハウとか固定資産もあるんでその辺、M&amp;Aじゃないですけど次の方に引き継ぐとかね。そういう話も出まして、追加融資でこれも言葉悪いけど、延命させるのも手ですけど。</p> <p>小規模事業者の平均年齢が69歳とかいうデータもあるんで、廃業をどうさせるかという廃業専門のコンサルタントを、私は要求したんですけども、プラス、AI・IT、企業のIT化ですね。これもちょっと雇用に関わってくるんで、従業員減らす政策なんですね。よう聞いていくと。でもこれは必要なことだという大阪府さんの認識で、来年以降、ちょっと名前を忘れましたけど、DXやったかな、中小企業の。そういう政策が、徐々に来年、再来年以降始まるかもわからないです。</p> <p>金融機関の方も来られてるので、窓口業務の人員のこともちょっと紹介していただければ。</p> <p>緊急事態の時はやっぱりかなり抑えながらという本部とかの指示もありましたので。でも6月以降は、とはいえ結構お客さんもいらして下さってた状況だったんですよ。</p> <p>ちょっと結構一般の会社の方が待機されてる中で、普段来られてない方が結構来てくださっていたという面があって、そういうことでやっぱり社員の方も感染してしまうとやっぱり大変なことになるんで、抑えながらやっていました。6月以降は人員などは全く通常通りなんですけど、やはり、りそな四條畷は個人のお客さんがメインですので、あまり仕事関係云々ってことは直接感じることはちょっと少ないんですけど、高齢の方が多いというような中で、本当に最低限の感染対策が結構気を使うところがやっぱりありまして。</p> <p>だんだん最近ではマスクをされてないお客様も多いというよ</p>
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>小西委員</p>	<p>うな中で、やっぱりお客様同士でも「あの方マスクをしてないよね」という声もあって、ちょっと気を使うところであまりストレートに言い過ぎてもいけないとかっていうところがあるので、常に社員だけではなくて、お客様に対しても気を配らないといけない面の方がうちの支店では。融資云々のところとかは直接影響はない部分はあるんですけど、そこはずっとこれから常に、もうwithコロナを本当に考えていかないといけないところで、お客様からもいろんなハード面のところとかやっぱり声をいただいたりするんで、そういうところがちょっと万全に注意していかなきゃいけないなと思います。すいません、ご質問の趣旨と変わってきたと思うんですけど、このような状況です。</p> <p>私共も一緒ですね。4月からですかね。一応職員の自宅待機っていう部分は、どちらかというと妊婦さんとか、それから基礎疾患をお持ちの職員の方は優先的に自宅待機をしていただいています。なかなかそのリモートって世間では言ってますけど、金融機関の仕事はあんまり、持って帰ったりですね、その情報を自宅からアクセスしたり、取り出したりって、基本できないので、その一部の方だけ休んでいただいて、今りそなさんのお話があったみたいに普段来られない方が来られて逆に忙しくなったというのが現状です。</p> <p>それで何とか本部からも応援出したりしながら、ギリギリ回ったというのが現状です。もうすでに元には戻っておりますけども、対応としてはそういう状況です。</p> <p>それと、どこでもそうだと思うんですけど、ロビーの待合も、今までの長い椅子を取っ払ってですね、1人用のボックスの椅子を間隔を空けて置くというような、そういう状況はもうどこも一緒かと思います。やっぱり我々のところは中小零細企業の方が圧倒的に多い金融機関なので、お金の相談それから色々な相談をいただいております。最初の一番は、そんなに資金のことでの相談はなかったんですけど。やはりこれだけ先行きが見えなかったりですね、物の動きが止まったり、人の消費も変わっていったりするとやっぱり、かなり影響が出てきて、次はやっぱり、回すためのお金が必要になったりっていうのが、状況です。</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>まだまだ先ほど申し上げたみたいに、年末にかけてどうなるかもわからへんという状況ですね、先ほど中川局長の方からお話ありましたけど、やはりもう中小零細企業で、これ以上お金借りてもどれだけ利息がかからなくても、元本は返していかなくやいかんで、借りるだけ自分の首が絞まるというかですね、そういう状況もやっぱりありますので、やはり、その方の当然判断も必要なんですけども、我々もただ要望があるから貸す、こういう時期だから融資するということではなくて、その辺のことを十分踏まえた上で、ご相談にのらないと廃業するにも廃業できない。悲惨な廃業になるようなことにはならないようにですね、気をつけてやっているというのが現状です。</p> <p>まだまだここで終わりですよ、これ以降は大丈夫ですよっていうのは全くわからないんで、手探りの状況であるっていうのが現状でございます。</p>
石 関 会 長	<p>はい、ありがとうございます。他にどなたか。関連の質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは本件についてはこれで終了いたします。次の案件について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>それでは、議題2 2点目の案件といたしまして、未来技術社会実装事業の実施に係る総合戦略への事業の追記についてご説明させていただきます。資料の5から7をご用意ください。</p> <p>この案件に関して、先ほど冒頭ご説明させていただきました笹田が出席しておりますので、事務局からの説明の後、補足をさせていただきたいと考えております。</p> <p>それでは、この事業につきまして、内閣府が行っております取り組みで、資料上段のですね、概要の欄にあります通り、A I、I o Tや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、革新的で先導性と横展開可能性にすぐれた提案について各種交付金、補助金の支援に加え、社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）等を構成するなど、各関係府省庁による総合的な支援が3年間実施されるものです。本市におきまして、今年度にこの未来技術社会実装事業に対する事業提案を行いまして、7月に採択を受けることができまし</p>

た。採択された事業の詳細につきましては、資料の6をご覧ください。

「けいはんな学研区域における地域主体の持続可能なまちづくり」としまして、本市東側にあります。田原地区において実施するものでございます。具体的な事業内容としましては、資料中段の「実装を目指す主な事業内容」の部分に記載があります通り、自動運転車の導入・運行、買い物・配送支援、都市OSの整備・運用、SandBox利活用支援の実施等を想定しております。

本事業の今後の展開についてでございますが、国の地方創生推進交付金の活用を検討しているところでございます。

資料の7をご覧ください。地方創生推進交付金「Society5.0タイプ」の概要といたしまして、最上部の枠囲みの中に記載があります通り、こちらは令和2年度から地方創生推進交付金に新設されたメニューでございます。地方創生の観点から取り組む、未来技術を活用した新たな社会システムづくりの全国的なモデルとなる事業に対し支援されるものであります。

本市におきましては、先ほど資料6でご紹介いたしました田原地区における事業について、こちらの地方創生推進交付金「Society5.0タイプ」を活用したいと考えております。交付金の申請にあたりましては、総合戦略の中で当該事業を位置付けている必要がございます。しかしながら、本市総合戦略の中におきまして、資料6でご紹介しましたAIやIoTの活用に関連する事業は、盛り込んでいない状況であることから、今回新たに事業の追加を行いたいと考えております。

具体的には、総合戦略の冊子をお開きいただけますでしょうか。お忘れの方いらっしゃいますでしょうか。こちらの12ページをお開きください。お渡ししております総合戦略の冊子12ページにございます全体像のうち、基本目標2の「働きたい」を応援するまちの中、施策・事業の部分に追記を行う予定をしております。現在、庁内で調整を行っておりますため、次回の協議会にて改めて委員の皆様にお諮りしたいと考えております。事務局からの説明は以上です。追加で、田原支所長の方から説明をさせていただきます。

笹田支所長

すいません。本日は貴重なお時間いただきましてありがとうございます

	<p>ございます。この事業といたしますのが、提案タイトルにあるように、「けいはんな学研区域（田原地域）における地域主体な持続可能なまちづくり」という内容では提案させていただきました。ここで実証実験を繰り返しながら、四條畷全体が住みよいまちづくりになっていけばと考えています。まずはこの田原地域の方で、例えば自動運転、買い物支援・配送支援というのを実証実験重ねてまいります。四條畷全体の中でも今後高齢化率がやっぱり上がってきてますので、四條畷の地域課題を解消する上で、それにチャレンジしていきたいという思いで提案を出させていただいております。その上で、市全体としてこれが四條畷田原地域で行った実証実験が結果的に四條畷を豊かにする町に変えていけばというふうに考えております。</p> <p>そこで、基本目標の「働きたい」地域ということで、この総合戦略の中でひいては、そういう新たな産業ができるということは、その中でまたそういう創業支援など、新たな企業がこの四條畷の中で生まれていけばということで、好循環をめざしていきたいというふうに考えておりますのでよろしくお願ひします。</p>
石 関 会 長	<p>ありがとうございます。只今、未来技術社会実装事業を進めるにあたっての地方創生推進交付金の獲得と、それに向けた総合戦略への事業の追記について事務局から説明がありました。この件に関する皆様からご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p>
藤 岡 部 長	<p>少しだけ補足させていただきます。今事務局申し上げました通り、このコロナ禍ということもありまして、国の方もやはりICTのデジタル化というものについては、かなりの力を入れていくのだというようなこともありまして、また新たな産業といえますか、新たな生活様式に基づく取り組みの方も進めていかなきゃならないという中で、ただ単独費、市の単独費用だけではやっぱりこういったことはできませんので、国の交付金等ですね、しっかりと取っていきながら進めていかなきゃならないと。その時の条件といたしまして、先ほど言いましたこの総合戦略の中に位置付けてあることが条件となってございませ</p>

	<p>て、この中に盛り込んでいくと。ただ、この総合戦略につきましては、30年度に作ったということもありますので、途中で改定するということには、なかなか、計画期間が令和4年度までありますので、ただこれには対応していきたいということもありますので。ということで、その方針とか方向性とかをそのままにして、雇用のところの項目に施策として、追記していきたいというのが趣旨でございます。</p> <p>これにつきましては、来年度の地方創生の交付金の申請を考えますと、年内にはこの追記の方も、検討していきたいと考えておまして、まず市内でも十分に議論をした上で、またこの協議会の方に諮って、皆様のご意見いただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
石 関 会 長	<p>はい、ありがとうございます。どなたかございますでしょうか。</p> <p>一つ僕からいいですか。この資料でこのように色々な事業内容書いてあるんですがこれ、多分5年でやるのって結構きついですよ。田原っていう場所柄の特性を活かしているっていうことで考えた時に優先順位っていうのはどうなってるんですかね。</p>
笹田支所長	<p>はい。優先順位等、この資料6に基づいた内容についてお答えいたします。この中で記載させていただいているのが、自動運転・買い物支援、都市OSということで地域課題を解消することを目的としております。その中で、優先順位としては一番喫緊の課題としては、例えばその買い物支援っていうのが、ご高齢の方であったりとか、在宅にいらっしゃる方っていうのが、どうしても買い物に行けないというのがやっぱり一番生活の要になってきますので、その部分については一番重要かと思っております。その上で、例えば運転免許証を返納されたりとか、そういう方がいらっしゃると思いますので、そういうところについては、低速の自動運転の車など、そういうのも今、ございますので、そういうのを導入し、チャレンジしていきたいと考えております。</p>

石 関 会 長	<p>はい、ありがとうございます。他にどなたかございますでしょうか。</p> <p>すいません。その買い物支援なんですけどね、ちょっと私不勉強で申し訳ないです。例えば田原地域っておそらく買い物行かれるのは、生駒市でしたっけ。生駒市、隣接の生駒市ですよ、の方に多分買い物行かれる方が圧倒的に多くてどちらかというとな四條畷市の商店街の方に来られる方って、少ないのかなあという心配するんですけど。極力、四條畷の事業者さんのところの買物をうまく、向こうのね、田原エリアにという、それを集配するのが、ドローンがするのはちょっと無理やろうなとかですね。ちょっとイメージがわからないんですけど。</p>
笹田支所長	<p>はい。すいません。説明不足で申し訳ございません。</p> <p>まず一つが田原地域でいいますと、アカカベ薬局さんが、地域の牛乳であったりとか、お魚、冷凍になるんですけどお魚であったりとか卵とかそういうものを購入できます。もともと山を切り拓いた町でありますので高低差がありますので、まずはその中での買い物支援というふうに考えております。その上で、例えば今おっしゃっていただいた中で、四條畷の商店街との連結っていうことになると、例えばコミュニティバスという形にが想定されます。もちろん配送のドローンとかあとは自動運転の手段となりますが、そのお店の中の状況をご在宅にいらっしゃる方がテレビで見ながら買い物できるような支援ができればいいなというふうに考えております。こういう技術ってというのは、例えば小さなカメラを、その買い物支援の方につけていただいて、それが例えば将来は四條畷商店街の方法もありますが最初、田原のアカカベの方でやる実証実験を予定しています。その上で、購入者の方が、右から二つ目の例えば、キュウリがいいとか三つ目のトマトがいいっていうのを選んでいただいたものを、何らかの方法で配送するという形にすれば、地域の中の商店街も活性化していくんじゃないかというふうに考えております。</p>
石 関 会 長	<p>他にどなたかございますでしょうか。</p> <p>その部分って、いわゆるネットスーパーとかいっぱいある</p>



<p>笹田支所長</p>	<p>じゃないですか。そこの差別化、いわゆる商店街で買わなくちゃいけないっていうその差別化っていうのをどう考えてらっしゃるんですかね。</p> <p>はい。そこの差別化っていうのが、一番重要なところであります。例えばネットスーパーで言いますと実物がなくて商品が選べることができなくて例えば、ネットスーパー上では大根とかトマトはあるんですけど、右から三つ目を選択とかいうのが、そのスーパーに今リアルである商品のどれを選びたいっていうのを一緒に地域の商業のお店の方と一緒に連携しながら、ご購入していただけるようなリアルとネットを掛け合わせたような形っていうふうに今考えております。</p>
<p>石 関 会 長</p>	<p>僕が今そういう感じのネットワーク関係の色々やってるんですけども、それ考えたときに確かにそれも正しいと思うんですけども、やっぱりコミュニケーションの部分だと思うんですよね。だからそのネットワーク使って、うちの大学で授業もやってるんですけどコミュニケーションをどうとるかっていうことが一番大きな課題で、商店街って昔の商店街って結局、お店の人との会話があってということで、日々皆さん行かれてるということがあったと思うんですよね。それをやっぱり復活するのが商店街が生き残る道の一つかなと思ってるんで、その辺のところもしうまく実現できるようなことがあれば、もちろんご協力しますけども、考えてみてください。はい。</p> <p>他にどなたかございますでしょうか。はい。お願いします。</p>
<p>中 野 委 員</p>	<p>私の住まいにしてる楠公地区でも非常に便利のいいところなんですけども、この地区においてもものすごいやっぱり高齢化がかなり激しくなってきた一人暮らしのご家庭が多いんですけども、ここ最近特にコロナになりましたから、町会とか支援の事業がほとんど何もできてないということで、公民館に集まるにしても公民館自体がそんなに広くないものですから、人数的には集まらないということで、ほとんどもうこの半年強ですか、もう自宅に籠ったきりという老人の方がかなり多くなっていま</p>

	<p>す。</p> <p>やっぱりそれ、私も含めてなんですけども家にいると足腰が衰えて、ただただ出るのが億劫になると、その買い物にも行けない状態の方が徐々に増えてきているという状況なんで、やっぱり長期の計画も必要なことだと思うんですけども。やっぱり早々にですね、やっぱりそういう独老人とかの支援の方法ですね、優先的にやっていただくことも大事なことじゃないかなと。やっぱり足元がうろついているのに何年も先のこともできないという状況もありますんで。その辺のことが一つ考慮に入れていただいたらと思います。</p>
藤岡部長	<p>そうですね、まさしく本当にコロナの中でですね、そういった様々な問題が起こってきているのかなというふうに認識しているところでございます。健康福祉部を中心に、そういった見守り、声かけ等ですね、始めているところでございますので、またそういったご意見につきましては関係部局の方にお伝えさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。</p> <p>また中川委員になるんですが、先ほどもICTのっていうようなお話があったんですけども、こういった実証実験といいますか、取り組みをしていくにあたって何か、市とご協力いただけるようなところってというのは何かありますか。</p>
中川委員	<p>先ほど石関先生が言われました、あの商店街のお店で買うっていう商店街を選ぶっていう、個店を選ぶっていうね。そこをちょっと詰めていかなあかんのかなと思います。ネットがね、Amazonとか、幅利かせてますんで。地産地消でどうやっていっていかっていう、配達だけやったらもうGrabとかUberとか今、やってるのかな、日本も。野菜欲しいなと思えばそこに野菜積んで運んでもらったらどうかなと思いますけど。ハードを整備するんだったら結構お金かかるんで。身近なことからやるんやったら、あるものを活用して民間でも。バス用意するだけでものすごいお金が掛かると思います。</p>
笹田支所長	<p>はい。確かにおっしゃるように、ハード整備というよりは、</p>

	<p>ある資源を活用しながら、やっぱり地域の中を盛り上げていきたいというふうに考えておりますので、まずそのある資源、地域の人脈であったりとか商店であったりとか、今既存で普及しているシステムなどを利活用しながら、それを掛け合わせながらやっていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひします。</p>
石 関 会 長	<p>他にどなたかございませんでしょうか。よろしいでしょうか。はいじゃあお願ひします。</p>
藤 岡 部 長	<p>すいません。もしよろしければ上村副会長も何か市に対してですね、このコロナ禍において、今後の事業者さんへのつていうようなところで何かご意見等もいただけたらなと思うんですか。</p>
上村副会長	<p>いつもね、商工会の方には、話をさせてもらってるのは、先ほど中川局長の方から話をしましたように、商工会の会員、そして非会員にも対応するというようなことで、商工会にお見えになる方は、おそらく初めて来られた方も、先ほど局長の話から想像できるのではないかというふうなことを思われると思いますけども、パソコンを開いたことがないし、それから携帯そのものも使ったことがないというふうな方が、実際のところ本当に身につまされながら、藁をも掴む思いで商工会の方の門をくぐって来られるというふうなことがあるので、商工会の立場とすればですね、本当にどちらかと言えばもう来られる方そのものが気が立っておられるような方々が多いので、うまい具合に対応をするようにというふうなことを常々、商工会の職員の方には言っているところでございます。</p> <p>今年1年間そのものに関しましてはですね、商工会にとりましても50周年という節目の年でございます。もちろん市の方も50周年というふうなこともありましてですね、それらがすべてなくなってしまったというふうなそんな状況の中、今後これから先の部分に関しまして、いつどのような形で回復していくのか、そしてまた、元の通りにまで、戻ることって本当にあるの</p>

	<p>かなと。リモートとか色々な言い方がされて、働き方改革がもう変わっていくというようなそんな状況の中ですね、中小企業にとっては、おそらく、リモートっていうのは、まだ夢のまた夢のことなのかなというふうに思います。というのも、やはり四條畷を見渡していただきますと、そういった企業が本当にあるのかなというようにことも考えますし、今後、商工会にとりましても、どのような形で皆様方にいろんなサービスを提供することができるかというようなことを手探りではありますし、しかも今まで助成金の部分に関しましてもコロコロ変わってまいりましたし、どんな方向で皆様方にお伝えしていくことができるか、できるかどうかもわからないというようなそんな状況、やっと何となくそういった部分では方向性が見えてきたかなというふうには思いますけれども、今後ともやはり厳しい状況が続いて参りますので、できる限りですね、商工会としても本当に小さいことから、本当に手の届く範囲の中から皆様方にサービスを提供するというようなことを心掛けるようにというようなことで指示をしているところでございます。以上でございます。</p>
石 関 会 長	<p>他にどなたかございますでしょうか。</p> <p>はい。それでは、本件についてはこれで終了させていただきます。続いて次第3 その他について事務局から説明の方お願いします。</p>
事 務 局	<p>はい。それでは事務局から、次回協議会の日程調整のご連絡をさせていただきたいと思っております。少し期間が短いのですが、次回の協議会は再来月の11月を想定しておりまして、内容といたしましては、先ほどの議題にございました未来技術社会実装事業の推進に伴う総合戦略への一部記載の追加につきまして、具体的な案をお示しながら、委員の皆様にお諮りするとともに、また企業版ふるさと納税の活用でありますとか、いくつかのご報告と意見交換ということを予定しております。</p> <p>日程につきましては、11月2日の月曜日、4日の水曜日、5日の木曜日の午前中ですね、11時からということで、1時間程度ということで考えております。お手数なんですけれどもお手元にお</p>

石 関 会 長	<p>配りをしております日程調整表の方にご都合をご記入いただきまして、お帰りの際に机の上に置いておいていただきますように、どうぞよろしく願いいたします。まだ日程、ご予約がちょっとまだわからないということであれば、もうそのまま書いておいていただければ大丈夫です。</p> <p>また本日ご欠席の委員の方も含めまして日程の方、調整させていただきますまして、ご出席可能な委員の方が一番多い日程の方に決定をさせていただいて、また改めて皆様の方にご連絡をさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>最後に、本日の会議録につきましては、後日事務局の方から案を送付させていただきますので、内容のご確認をいただきまして、期日までに修正点等がございましたら、ご連絡をいただきますようによろしく願いいたします。会議録については市のホームページへの掲載を予定しております。説明は以上でございます。</p> <p>3 閉 会</p> <p>はい。ありがとうございます。事務局から、今説明がありましたが何かご質問ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは只今をもちまして、令和2年度第1回四條畷市総合戦略協議会を閉会します。皆様ありがとうございました。</p>
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------